

平成27年度 事業報告書

公益財団法人日本ハンドボール協会

1. 競技力向上に関する事業

《強化》

1) 強化関連会議・施策など

- 5月9日(土) 強化委員会
- 6月6日(土) 強化委員会
- 8月29日(土) 強化委員会
- 10月10日(土) 強化委員会・強化スタッフ会議
- 10月23日(金) 強化委員会・強化スタッフ会議
- 11月3日(火) 強化委員会
- 1月10日(日) 強化委員会
- 1月31日(日) 拡大強化会議
- 3月5日(土) 強化委員会
- 2019・20 強化施策案を見直した。
- 海外強化拠点(デンマーク・フルハイコル)への派遣実施(女子世界選手権開催時)
- 「女性競技種目戦略的強化プログラム」(文部科学省直轄事業)進行中。
- 平成28年度強化スタッフを選定した。
- 平成28年度強化施策を策定した。
- 平成28年度「JOC強化指定選手」の選出、JOCへ提出

2) 国際大会・国際交流親善試合

チーム名	大会名	日程	場所	結果
女子代表	国際強化試合	6/23-6/24	日本・愛知県	女子 JPN 18-19 SK オーフス JPN 24-21 SK オーフス
男女 U-22	第3回東 U-22 東アジア選手権	6/23-6/29	台湾・台北	男子 1:KOR 2:JPN 3:TPE 4:CHN 5:HKG 6:MAC 女子 1:KOR 2:JPN 3:TPE 4:CHN 5:HKG
女子代表	第20回ヒロシマ国際	6/26-6/28	日本・広島県	1: JPN 2: SK オーフス(DEN) 3:広島メイプル 4: CHN
男女 U-24	第28回ユニバーシアード競技大会ハンドボール競技	7/6-7/13	韓国・光州	男子: 1:POR 2:SRB 3:SUI 4:KOR 5:ISR 6:RUS 7:BRA 8:LTU 9:HUN 10:TUR 11:JPN 12:MEX 13:USA 女子: 1:RUS 2:KOR 3:SRB 4:CZE 5:BRA 6:ROU 7:UKR 8:CHN 9:MNE 10:SVK 11:JPN 12:URU
男子 U-21	第20回男子ジュニア世界選手権	7/20-8/1	ブラジル・ウベランジア、ウベラバ	1:FRA 2:DEN 3:GER 4:EGY 5:SWE 6:BLR 7:ESP 8:ROU 9:QAT 10:BRA 11:KOR 12:TUN 13:ARG 14:POR 15:NOR 16:RUS 17:SRB 18:JPN 19:NED 20:ALG 21:ANG 22:URU 23:CHI 24:PAR
女子 U-20	第13回女子ジュニアアジア選手権	8/6-8/14	カザフスタン・アルマトイ	1:KOR 2:JPN 3:KAZ 4:CHN 5:UZB 6:IRI
男子 U-19	第6回男子ユース世界選手権	8/7-8/20	ロシア・エカテリンブルク	1:FRA 2:SLO 3:ISL 4:ESP 5:SWE 6:NOR 7:DEN 8:BRA 9:SUI 10:HUN 11:RUS 12:SRB 13:POL 14:CRO 15:EGY 16:TUN 17:GER 18:QAT 19:POL 20:JPN 21:ARG 22:VEN 23:ALG 4:CHI

男子U-16	日韓スポーツ交流 2015	8/26-8/31	韓国・仁川	JPN 23 (11- 9, 12-13) 22 KOR
女子 U-18	第 6 回女子ユース アジア選手権 (派遣)	8/27-9/3	インド・ニューデ リー	1:KOR 2:JPN 3:CHN 4:KAZ 5:UZB 6:TPE 7:IND
男子U-16	日韓スポーツ交流 2015 (受入)	9/16-9/21	日本・佐賀県	JPN 28 (12-12, 16-12) 24 KOR
女子 U-16	第 19 回日韓スポーツ 交流(受入)	9/16-9/21	日本・佐賀県	JPN 20 (10-16, 10-14) 30 KOR
女子代表	リオ五輪女子アジア予 選	10/20-10/2 5	日本・愛知県	1:KOR 2:JPN 3:CHN 4:KAZ 5:UZB
男子代表	リオ五輪男子アジア予 選	11/14-11/11	カタール・ドー ハ	1:QAT 2:IRI 3:BRN 4:KOR 5:JPN 6:KSA 7:IRQ 8:CHN 9:OMA 10:AUS 11:UZB
女子 U-16	第 19 回日韓スポーツ 交流(派遣)	11/27-12/2	韓国・仁川	JPN 20 (7-17, 13-10) 27 KOR
女子代表	第 22 回女子世界選手 権	12/5-12/20	デンマーク・ヘ アニング、コリ ング、フレゼリ クスハウ、ネ ストヴェズ	1:NOR 2:NED 3:ROU 4:POL 5:RUS 6:DEN 7:FRA 8:MNE 9:SWE 10:BRA 11:HUN 12:ESP 13:GER 14:KOR 15:SRB 16:ANG 17:CHN 18:ARG 19:JPN 20:PUR 21:TUN 22:KZA 23:CUB 24:COD
男子代表	第 17 回男子アジア選 手権	1/15-1/28	バーレーン・マナ ーマ	1:QAT 2:BRN 3:JPN 4:KSA 5:IRI 6:KOR 7:UAE 8:OMA 9:CHN 10:LIB 11:SYR
女子代表	IHF リオ五輪女子世 界最終予選	3/18-3/20	フランス・メッス	1:NED 2:FRA 3:JPN 4:TUN

3) 海外強化合宿

チーム名	事業名	日 程	場 所	参加人数計(役員、選手)
女子代表	第 1 回欧州遠征	5/30-6/12	ハンガリー	24 名(役員 6 名、選手 18 名)
女子代表	第 2 回欧州遠征	8/4-8/18	ハンガリー・デン マーク	28 名(役員 7 名、選手 21 名)
男子代表	第 1 回欧州遠征	8/9-8/24	フランス・スペイ ン	26 名(役員 6 名、選手 20 名)
男子代表	第 2 回欧州遠征	11/6-11/11	フランス	25 名(役員 7 名、選手 18 名)
女子代表	世界選手権直前遠 征	11/27-12/4	デンマーク	23 名(役員 5 名、選手 18 名)
男子代表	第 3 回欧州遠征	12/29-1/13	ハンガリー	26 名(役員 8 名、選手 18 名)
女子代表	IHF 世界最終予選直 前欧州遠征	3/6-3/16	ハンガリー	26 名(役員 9 名、選手 17 名)

4) 国内強化合宿 (男女代表)

チーム名	場 所	日 程	参加人数(役員・選手)	ドクタ-	トレーナ-
男子代表	第 1 回 ANTC	4/22-5/1	31 名(役員 4 名、選手 27 名)		寺尾邦仁
	第 2 回 ANTC	6/2-6/12	23 名(役員 6 名、選手 17 名)		寺尾邦仁
	第 3 回大崎電気	6/23-7/3	31 名(役員 6 名、選手 25 名)		寺尾邦仁
	第 4 回大崎電気・ 紋別	7/14-7/24	28 名(役員 7 名、選手 21 名)		永井正之 寺尾邦仁
	第 5 回大崎電気	8/6-8/9	26 名(役員 6 名、選手 20 名)		寺尾邦仁

	第 6 回 広島県	9/3-9/7	30 名(役員 5 名、選手 25 名)		寺尾邦仁
	第 7 回 ANTC	9/9-9/18	30 名(役員 5 名、選手 25 名)		寺尾邦仁
	第 8 回 ANTC	9/29-10/7	30 名(役員 5 名、選手 25 名)		寺尾邦仁
	第 9 回 熊本県	10/9-10/13	27 名(役員 5 名、選手 22 名)		寺尾邦仁
	第 10 回 ANTC	10/15-10/20	30 名(役員 5 名、選手 25 名)		寺尾邦仁
	第 11 回 愛知県	10/22-10/26	27 名(役員 5 名、選手 22 名)		寺尾邦仁
	第 12 回 大崎電気・ ANTC	10/28-11/5	23 名(役員 5 名、選手 18 名)		寺尾邦仁
女子代表	第 1 回 ANTC	4/4-4/10	23 名(役員 6 名、選手 17 名)		高野内俊也 佐野裕美
	第 2 回 ANTC	4/29-5/9	25 名(役員 7 名、選手 18 名)		高野内俊也 佐野裕美
	第 3 回 ANTC	5/27-5/30	25 名(役員 7 名、選手 18 名)		高野内俊也 佐野裕美
	第 4 回 ANTC	6/12-6/23	25 名(役員 6 名、選手 19 名)		高野内俊也 佐野裕美
	第 5 回 ANTC	7/14-8/3	23 名(役員 6 名、選手 17 名)		高野内俊也 佐野裕美
	第 6 回 ANTC	9/1-10/18	29 名(役員 8 名、選手 21 名)		高野内俊也 佐野裕美
	第 7 回 熊本県	11/14-11/22	20 名(役員 5 名、選手 15 名)		高野内俊也 佐野裕美
	第 8 回 ANTC	11/25-11/27	21 名(役員 6 名、選手 15 名)		高野内俊也 佐野裕美
	第 9 回 広島県	1/24-1/27	18 名(役員 4 名、選手 14 名)		高野内俊也
	第 10 回 熊本県	2/14-2/17	22 名(役員 8 名、選手 14 名)		高野内俊也 岩谷美菜子
	第 11 回 ANTC	2/29-3/6	25 名(役員 7 名、選手 14 名)	-	高野内俊也 岩谷美菜子

5) 国内強化合宿 (男女 under 代表)

チーム名	場 所	日 程	参加人数(役員・選手)	ドクター	トレーナー
男子 U-24	第 1 回 ANTC	5/28-6/2	23 名(役員 5 名、選手 18 名)		永井正之
	第 2 回 ANTC	6/11-6/16	23 名(役員 5 名、選手 18 名)		永井正之
	第 3 回 ANTC	6/24-6/29	23 名(役員 5 名、選手 18 名)		永井正之
男子 U-21	第 1 回 ANTC	5/27-5/31	27 名(役員 5 名、選手 22 名)		島俊也
	第 2 回 ANTC	6/12-6/19	27 名(役員 5 名、選手 22 名)		島俊也
	第 3 回 愛知県	7/3-7/7	23 名(役員 5 名、選手 18 名)		高島俊也 飯田純一郎
男子 U-19	第 1 回 ANTC	5/18-5/21	27 名(役員 5 名、選手 22 名)		大岡恒雄
	第 2 回 ANTC	6/18-6/22	21 名(役員 5 名、選手 16 名)		大岡恒雄
	第 3 回 ANTC	7/17-7/21	20 名(役員 3 名、選手 17 名)		大岡恒雄
	第 4 回 ANTC	8/1-8/5	25 名(役員 6 名、選手 18 名)		大岡恒雄
男子 U-16	第 1 回 ANTC	5/15-5/18	25 名(役員 3 名、選手 22 名)		市川央人
	第 2 回 ANTC	7/3-7/5	19 名(役員 3 名、選手 16 名)		市川央人
	第 3 回 ANTC	8/24-8/26	20 名(役員 4 名、選手 16 名)		市川央人
女子 U-24	第 1 回 ANTC	6/3-6/8	17 名(役員 3 名、選手 14 名)		石森七海
	第 2 回 ANTC	6/22-6/29	21 名(役員 5 名、選手 16 名)	沖本信和	市川央人
女子 U-20	第 1 回 ANTC	5/22-5/24	25 名(役員 3 名、選手 22 名)		岩谷美菜子
	第 2 回 ANTC	6/19-6/22	19 名(役員 3 名、選手 16 名)		花岡美智子
	第 3 回 ANTC	7/17-7/20	20 名(役員 4 名、選手 16 名)	井本光次郎	岩谷美菜子
	第 4 回 ANTC	8/1-8/3	21 名(役員 5 名、選手 16 名)	井本光次郎	岩谷美菜子
女子 U-18	第 1 回 ANTC	4/21-4/28	24 名(役員 2 名、選手 22 名)		
	第 2 回 ANTC	5/15-5/20	23 名(役員 5 名、選手 18 名)	貝沼圭吾	宿利政生

	第3回 佼成学園女子高校	6/24-6/29	21名(役員5名、選手16名)	貝沼圭吾	宿利政生
	第4回 佼成学園女子高校	7/19-7/23	22名(役員6名、選手16名)	貝沼圭吾	宿利政生
女子 U-16	第1回 ANTC	4/11-4/14	25名(役員3名、選手22名)		内田春菜
	第2回 佐賀県	9/12-9/16	20名(役員4名、選手16名)		内田春菜
	第3回 ANTC	11/24-11/27	19名(役員4名、選手15名)		内田春菜

6) ドクター・トレーナー帯同(遠征・大会)

チーム名	遠征・大会名	日程	場所	ドクター	トレーナー
女子代表	第1回欧州遠征	5/30-6/12	ハンガリー		永井正之 佐野裕美
女子代表	国際強化親善試合	6/23-6/24	日本・愛知県		高野内俊也
女子U-20	第3回東アジアU-22選手権(女子)	6/23-6/29	台湾・台北	大西信三	花岡美智子
男子U-19	第3回東アジアU-22選手権(男子)	6/23-6/30	台湾・台北		大岡恒雄
女子代表	第20回ヒロシマ国際(女子)	6/26-6/28	日本・広島県		高野内俊也
男子U-24	第28回ユニバーシアード競技大会 ハンドボール競技(男子)	7/6-7/13	韓国・光州		永井正之
女子U-24	第28回ユニバーシアード競技大会 ハンドボール競技(女子)	7/6-7/13	韓国・光州	沖本信和	佐野裕美
男子U-21	第10回男子ジュニア世界選手権	7/20-8/1	ブラジル	有田忍	島俊也
女子代表	第2回欧州遠征	8/4-8/18	ハンガリー・ デンマーク		高野内俊也 佐野裕美
女子U-20	第13回女子ジュニアアジア選手権	8/6-8/17	カザフスタン	井本光次郎	岩谷美菜子
男子U-19	第6回男子ユース世界選手権	8/7-8/20	ロシア	大西信三	大岡恒雄
男子代表	第1回欧州遠征	8/9-8/24	フランス スペイン		寺尾邦仁
女子U-18	第6回女子ユースアジア選手権	8/24-9/5	インド	貝沼圭吾	宿利政生
男子U-16	日韓スポーツ交流2015(派遣)	8/26-8/31	韓国・仁川市		市川央人
男子U-16	日韓スポーツ交流2015(受入)	9/16-9/21	日本・佐賀県		市川央人
女子U-16	第19回日韓スポーツ交流(受入)	9/16-9/21	日本・佐賀県		内田春菜
女子代表	リオ五輪女子アジア予選	10/20-10/25	日本・愛知県	永澤雷太	高野内俊也 佐野裕美
男子代表	第2回欧州遠征	11/5-11/11	フランス	有田忍	寺尾邦仁
男子代表	リオ五輪男子アジア予選	11/11-11/28	カタール	有田忍	寺尾邦仁
女子U-16	第19回日韓スポーツ交流(派遣)	11/27-12/2	韓国・仁川市		内田春菜
女子代表	大会直前欧州遠征	11/27-12/4	デンマーク		高野内俊也 佐野裕美
女子代表	第22回女子世界選手権	12/5-12/20	デンマーク	丸箸兆廷	高野内俊也 佐野裕美
男子代表	第3回欧州遠征	12/29-1/13	ハンガリー		寺尾邦仁
男子代表	第17回男子アジア選手権	1/15-1/28	バーレーン	森實岳史	寺尾邦仁
女子代表	大会直前欧州遠征	3/6-3/16	ハンガリー	永澤雷太	高野内俊也 岩谷美菜子
女子代表	IHF 世界最終予選	3/18-3/20	フランス	永澤雷太	高野内俊也 岩谷美菜子

7) JOC ジュニアオリンピックカップ大会

男子優勝：愛知県選抜 女子優勝：東京都選抜

オリンピック有望選手の選考

男子 窪田 礼央(富山県選抜：氷見西條中学校)

女子 該当者なし

8) 日本代表チーム

(1)男子代表がオリンピックアジア予選にて第5位という結果で、本大会及び世界最終予選へ

の出場権獲得は成らなかった。第 17 回男子アジア選手権において第 3 位という結果で、3 大会ぶりに世界選手権の出場権を獲得した。

- (2) 女子代表がオリンピックアジア予選にて第 2 位という結果で、今大会でのオリンピック出場権獲得はならず、世界最終予選の出場権を獲得した。世界最終予選ではオランダ・フランスに次いでグループ第 3 位となりオリンピック出場権獲得は成らなかった。第 22 回女子世界選手権では、予選ラウンド・グループ 5 位という結果で 17-20 位決定戦へ回り最終結果として第 19 位であった。
- (3) オリンピックアジア予選をもって岩本男子代表監督は契約満了となり、新たにオルテガ男子代表監督就任を決定した。オルテガ男子代表監督は第 17 回男子アジア選手権をもって契約満了となった。栗山女子代表監督も同様にオリンピック世界最終予選をもって契約満了となった。

9) under 代表チーム

- (1) 年齢カテゴリー別の体制で NTS・JHA ジュニアアカデミーと連携して、発掘・育成・強化へと連動した計画的な選手の養成ができた。結果として U-21 男子代表が 30 年ぶりの男子ジュニア世界選手権で世界への再チャレンジとなった。U-19 男子代表が 2 大会連続で男子ユース世界選手権の出場で世界へチャレンジをした。女子についても、U-20&U-18 で確実にアジア選手権を勝ち抜き、世界選手権の出場権を獲得した。
- (2) カテゴリー強化合宿などを計画に基づき実施した。

10) 分析活動および体力向上策(情報科学委員会)

情報科学専門委員会活動として、国立スポーツ科学センターと共同して、ITC を活用した映像データライブラリ(スマートシステム及びチェルダス)の運用を行った。このことにより、トレーニング及びゲームにおいて、スタッフ・選手の情報の共有を図ることができ、さらに海外チームに在籍選手との情報共有を進めることができた。

分析活動においては、男女 0L アジア予選、女子 0L 世界最終予選、男子アジア選手権大会、女子世界選手権大会にて、自チームと相手チームに対する分析活動を行った。特に現地にて、先述したスマートシステムを用いて、効率よく分析映像を選手たちに提示することができた。また、ゲームでの基本的な分析項目の策定を行った。

体力向上のための事業としては、NTS ブロックトレーニングでの体力測定値のデータ収集・分析を行い、中高生のトップレベルの体力値についての検討を行った。また、フィールドテストの測定項目の統一を図る検討会議を実施した。

11) 医事活動および医科学調査研究(医事専門委員会)

- (1) 医事委員会・アンチドーピング特別委員会・トレーナー部会合同会議

第 1 回 6 月 21 日(日)味の素ナショナルトレーニングセンター研修室 出席者 13 名

新委員紹介

帯同ドクターの取り決め及び年度予定の確認と調整

アンチ・ドーピングに関する変更点の確認

トレーナーバッグ/ドクターバッグの準備と管理について

ハンドボールメディカルガイドラインの作成について

NTS におけるメディカルチェックについて

ハンドボール選手のための食事に関する取り組み(個人アドバイザー制度)報告

2019 女子世界選手権熊本大会におけるメディカルミーティング開催にむけて

第 2 回 2 月 28 日(日)東京理科大葛飾キャンパス講義棟 503 教室 出席者 18 名

委員構成案について

「がんばれハンドボール 20 万人会」会員となり機関誌ハンドボールを情報共有の媒体として使用することの確認

平成 28 年度帯同ドクターの取り決めと予定確認

ドーピング防止について

加盟団体連絡会議兼ドーピング防止研修会（12 月 11 日 J A D A 主催）報告

<アンチ・ドーピング啓発活動>

・トレーナー研修会（6 月 21 日、N T C）：アンチ・ドーピング研修（佐久間克彦）

・全日本学生選手権（11 月 6 日、函館）：アンチ・ドーピング研修（沖本信和）

・全日本学生選手権（11 月 6 日～11 日）：アウトリーチ

・日本学生選手権（12 月 22 日～27 日）：アウトリーチ

ハンドボールメディカルガイドラインの作成について

栄養部門の取り組みについて

・各種大会における栄養部門ブースの設置につて

・ホームページ/機関誌における栄養部門の発信について

障害予防プログラム作成について

都道府県協会における医事委員会または安全対策委員会設置依頼の要望について

(2)第 2 回ハンドボール部会トレーナー研修会

6 月 21 日(日)味の素ナショナルトレーニングセンター 参加者 60 名

ハンドボールにおける肩関節傷害と機能について 永澤 雷太

最新のドーピング知識と事例紹介 佐久間克彦

ジュニア育成現場における課題とトレーナーの役割 田中 茂

競技レベルハンドボールの A C L 断裂 北岡 克彦

トレーナー部会登録者数 100 名

(3)第 4 回日本ハンドボール学会にて発表

過去における日本代表派遣前外傷メディカルチェックから見えてくるもの

井本光次郎

膝前十字靭帯損傷時には外側半月板断裂の合併に注意すべし！

- 前十字靭帯再建術の前に半月板の縫合をすべきかもー 北岡 克彦

(4)(公財)日本体育協会公認スポーツドクター及びアスレティックトレーナー受講者推薦

《発掘・育成》

(1) ナショナルトレーニングシステム

第 1 回 NTS 運営会議

期日：4 月 25 日（土）

場所：味の素ナショナルトレーニングセンター（ANTC）

NTS ブロックトレーニングシミュレーション

期日：4 月 23 日（土）・24 日（日）

場所：味の素ナショナルトレーニングセンター（ANTC）

NTS ブロックトレーニング

期日：8 月～9 月

場所：全国 9 ブロック

NTS センタートレーニングシミュレーション・第 2 回運営会議

期日：11 月 28 日（土）・29 日（日）

場所：味の素ナショナルトレーニングセンター（ANTC）

NTS センタートレーニング

期日：1 月 4 日（月）～6 日（水）...高校生の部

参加：スタッフ 45 名、選手（男子：29 名、女子：32 名）補助指導者 15 名
場所：味の素ナショナルトレーニングセンター（ANTC）
期日：9 日（土）～11 日（月）...中学生の部
参加：スタッフ 43 名、選手（男子：30 名、女子：30 名）補助指導者 30 名
場所：味の素ナショナルトレーニングセンター（ANTC）

(2)JHA ジュニアアカデミー（育成活動報告）

- 第 1 回 期日：8 月 10 日(月)～14 日(金)（高校生男女）
場所：味の素ナショナルトレーニングセンター（ANTC）
参加：スタッフ 7 名、選手 25 名 合計 32 名
内容：3 部練習構成とし個人の能力を最大限活かすための基礎トレーニングを中心に行う。専門指導を受けウエイト、水泳をトレーニングに取入れ筋力 UP、心肺機能 UP をはかる。
個人面談を行い、アカデミーでの個人の意欲、目標などの確認を行う。
- 第 2 回 期日：9 月 4 日(金)～8 日(火)（高校生男女）
場所：味の素ナショナルトレーニングセンター（ANTC）
参加：スタッフ 6 名、選手 31 名 合計 37 名
内容：3 部練習構成とし個人フィジカルトレーニングのレベルアップを中心にトレーニング。（サーキットトレーニング・インターバルトレーニング中心）
ウエイト、水泳をトレーニングに取入れ筋力 UP、心肺機能 UP をはかる。
また、GK コーチを招聘し専門的トレーニングを行った。
またミーティングの際にも、JOC 専門スタッフによるコミュニケーションスキル、チームビルディングスキル等の知的スキルアップトレーニングも行う。
- 第 3 回 期日：11 月 1 日(日)～5 日(木)（高校生男女）
場所：味の素ナショナルトレーニングセンター（ANTC）
参加：スタッフ 7 名、選手 28 名 合計 35 名
内容：3 部練習構成とし個人フィジカルトレーニングのレベルアップを中心にトレーニング。（サーキットトレーニング・インターバルトレーニング中心）
ウエイト、水泳をトレーニングに取入れ筋力 UP、心肺機能 UP をはかる。
また、GK コーチを招聘し専門的トレーニングを行った。
またミーティングの際にも、専門スタッフによるコミュニケーションスキル、目標設定等の知的スキルアップトレーニングも行う。
- 第 4 回 期日：12 月 19 日(土)～23 日(水)（高校生男女）
場所：味の素ナショナルトレーニングセンター（ANTC）
参加：スタッフ 5 名、選手 28 名 合計 33 名
内容：3 部練習構成とし個人フィジカルトレーニングのレベルアップを中心にトレーニング。（サーキットトレーニング・インターバルトレーニング中心）
ウエイト、水泳をトレーニングに取入れ筋力 UP、心肺機能 UP をはかる。
また、GK コーチを招聘し専門的トレーニングを行った。
またミーティングの際には、専門スタッフによる食育プログラム講習会を行った。
- 第 5 回 期日：3 月 6 日(日)～11 日(金)（高校生男女）
場所：味の素ナショナルトレーニングセンター（ANTC）
参加：スタッフ 4 名、選手 25 名 合計 29 名
内容：個人フィジカルトレーニングのレベルアップを中心にトレーニング。（サーキットトレーニング・インターバルトレーニング中心）
ウエイト、水泳をトレーニングに取入れ筋力 UP、心肺機能 UP をはかる。

またミーティングの際には、専門スタッフによる食育プログラム講習会を行った。

(3)JHA ジュニアアカデミー（発掘活動報告）

第 66 回全日本高校選手権大会大会視察

期日：8月1日(土)～8月4日(火)

場所：大阪堺市金岡公園体育館他

内容：全国高校選手権大会に参加している監督、コーチと JHA ジュニアアカデミーについての説明と意見交換を行ってきた。

また、選手発掘に力を入れ、全国の指導者からも地方で活躍している大型選手の情報も多く入手できた。

第 44 回全国中学校大会

期日：8月21日(金)～23日(日)

場所：花巻市総合体育館

内容：全国中学校大会に参加している監督、コーチと選手情報収集を行い、また試合を通じて、大型選手の発掘を行ってきた。

男子 58 回女子 51 回全日本学生選手権視察

期日：11月7日(土)～10日(火)

場所：函館アリーナほか

内容：全国学生選手権に参加している監督、コーチと選手情報収集を行い、また試合を通じて、大型選手の発掘を行ってきた。

第 39 回全国高校選抜大会視察

期日：3月24日(木)～26日(土)

場所：神戸 グリーンアリーナ神戸ほか

内容：全国高校選抜大会に参加している監督、コーチと JHA ジュニアアカデミーについての説明と意見交換を行ってきた。

また、平成 28 年度アカデミー選手発掘も行ってきた。

第 11 回春の全国中学生選手権大会

期日：3月27日(日)～29日(火)

場所：氷見市ふれあいスポーツセンターほか

内容：全国中学校大会に参加している監督、コーチと選手情報収集を行い、また試合を通じて、大型選手の発掘を行ってきた。

2. 普及指導に関する事業

1) 指導委員会活動

(1)日本体育協会公認スポーツ指導員養成専門科目実施県

山口県、佐賀県、沖縄県

(2)日本体育協会公認上級コーチ養成専門科目講習会

6月23日(火)～27日(土) 味の素ナショナルトレーニングセンター

19名受講 講師：もチャイ・ラヨシュ氏（元ハンガリー男女代表チーム監督）

(3)日本体育協会公認コーチ養成講習会＜免除適応コース＞

2月13日(土)～15日(月) 味の素ナショナルトレーニングセンター

41名受講 講師陣：日体協公認上級コーチ資格者

(4)トップコーチセミナー

第1回 10月8日(木)～9日(金) 愛知県トヨタ車体体育館

58名参加 講師：ダグル・シグルドソン氏（現ドイツ男子代表チーム監督）

(日本ハンドボールリーグ機構特別強化 Project との共催)
第2回 2月13日(土)~14日(日) 味の素ナショナルトレーニングセンター
60名参加 講師:古橋幹夫氏、金原理博氏、尾石智洋氏

(5)コーチセミナー

<リオオリンピック女子アジア予選おりひめジャパン応援企画>
10月25日(日) 愛知県スポーツ会館
48名参加 講師:北林健治氏、吉村晃氏、高橋豊樹氏、他

(6)女性指導者・女性チーム指導者セミナー

6月21日(日) 味の素ナショナルトレーニングセンター
29名参加 講師:イエスパー・ハンセン氏(スイス女子代表チーム監督)

(7)コーチ・レフェリーシンポジウム

3月26日(土)~27日(日) 駒澤大学深沢キャンパス
21名参加 講師:福島亮一氏、市村志朗氏、嘉数陽介氏、ネメシュ・ローランド氏

(8)指導普及育成委員会ホームページ開設

3月22日(火)~ <http://jhacan.jimdo.com/>

2) 小学生専門委員会活動

(1)小学生専門委員会

- 第1回 5月9日(土) 岡山県岡山市後楽園ホテル
第2回 5月30日(月) 味の素ナショナルトレーニングセンター
(ア)第28回全国小学生大会について
(イ)J級指導者養成講習会について
(ウ)ブロック委員会の開催について:会議の形態、持ち方について
(エ)Jクイックハンドボール本格実施に向けて
(オ)(公財)大崎スポーツ事業研究助成財団補助による事業展開について
・企業チーム地域活動への援助 ・地域活性化推進ブロック委員会について
- 第3回 7月30日(木) 京都府京田辺中央体育館
(ア)Jクイックハンドボールの普及について
(イ)ブロック活動状況報告(大会、交流会、指導員養成等々)
(ウ)日韓小学生交流会について
- 第4回 10月24日(土) 愛知県ブラザー体育館
(ア)新体制発足会議
(イ)第3回全国U-12指導者研修会について
(ウ)Jクイックハンドボールの検証について
- 第5回 11月15日(日) 味の素ナショナルトレーニングセンター
(ア)全国小学生大会の報告、運営について
(イ)組織改正について
(ウ)各都道府県大会等実態調査について

(2)『Jクイックハンドボール』講習会

西地区 5月10日(日) 岡山県総社市きびじアリーナ
東地区 5月31日(日) 味の素ナショナルトレーニングセンター

(3)第28回全国小学生ハンドボール大会

7月31日(金)~8月2日(日) 京都府京田辺市中央体育館
・運営スタッフやTDとして、運営面をサポート
・Jクイックハンドボールの普及・浸透の様子を観察
・大会会場の環境や選手の健康・安全についての観察・指導

(4)第7回日韓小学生交流事業(受け入れ)

8月7日(金)～11日(火) 山口県岩国市
・韓国発掘事業「夢の木チーム」5年、岩国 IDB チーム、山口県選抜との合同練習会
及び国際親善試合実施

(5)第3回全国U-12指導者研修会

11月14日(土)～15日(日) 味の素ナショナルトレーニングセンター
64名参加 講師：三輪一義氏、尾石智洋氏

3) 中学生専門委員会活動

(1)中学生専門委員会

- 第1回 8月21日(金) 岩手県花巻市花巻温泉ホテル
(ア)第24回JOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会
(イ)第11回春の全国中学生ハンドボール選手権大会
(ウ)日本協会より(三輪指導・普及本部長)
・普及委員会組織、中学チーム選手登録、全国小学生大会振り返り
- 第2回 12月23日(水) 沖縄県浦添市てだこホール
(ア)第24回JOC大会について(競技全般、確認事項)
(イ)第25回JOC大会について(要綱追加、記念大会)
(ウ)第26回JOC大会について
(エ)第27回JOC大会開催候補地選定について
(オ)第11回春の全国中学生選手権大会について
(カ)中学生専門委員会委員追加について
(キ)これからの取り組むべき課題について
(ク)各ブロック状況報告
- 第3回 3月26日(土) 富山県氷見市ふれあいスポーツセンター
(ア)中学生に関わる円滑な大会運営について
(イ)中学生の育成に関する成果と課題を踏まえた改革について
(ウ)育成部について
(エ)第24回全国中学校大会についての振り返り
(オ)第25回全国中学校大会について
(カ)平成29年度JOC全国大会について
(キ)JOCハンドボール大会の大会使用球について
(ク)技術講習会について
(ケ)中学生クラブチームについて
(コ)各ブロック状況報告

4) 学校体育専門委員会活動

(1)文部科学省訪問

4月17日(金) 文部科学省スポーツ・青少年局

(2)学校体育専門委員会

4月18日(土) 日本協会事務局

- (ア)第18回研究集会実施案検討：講師依頼(文部科学省調査官等)
(イ)授業実践者の募集、選出について(平成27～28年度4名)
(ウ)授業手引書の作成について「小学校におけるハンドボールの授業」

(3)小委員会

8月3日(月) 長崎県佐世保市中部地区公民館

(4)ハンドボール研究集会

8月4日(火)～5日(水) 長崎県佐世保市体育文化会館
50名参加 講師：米村耕平氏、木下光正氏、高田彬成氏

5) マスターズ専門委員会活動

(1) マスターズ専門委員会

第1回 7月31日(金) 愛知県豊田市スカイホール豊田

第2回 3月6日(日) 山梨県甲州市塩山体育館

(2) 第23回全日本マスターズ大会

7月31日(金)～8月2日(日) 愛知県豊田市スカイホール豊田 他8面

6) ビーチ専門委員会活動

(1) ビーチ専門委員会

8月22日(土) 愛知県南知多町

(2) 第17回全日本ビーチハンドボール選手権大会

8月22日(土)～23日(日) 愛知県南知多町小栢公園海岸

7) キャリアサポート専門委員会活動

(1) 女性指導者・女性チーム指導者セミナー

6月21日(日) 味の素ナショナルトレーニングセンター

29名参加 講師：イエスパー・ハンセン氏(スイス女子代表チーム監督)

(2) 女性指導者活動啓蒙

「女性指導者の指導環境の現状と課題 - 指導者が学びやすい環境を作ろう - 」

日本協会機関誌 NO.552, p16-19 . 東海林祐子

8) 競技者育成技術委員会

(1) 競技者育成技術委員会

・第1回：9月12日(土) ANTCにて、委員会再構築の提案を承認

・第2回：12月13日(土) 日本協会にて、リオ・オリンピックアジア予選の分析
と評価から、強化・指導・NTS・審判各部署で今後の方向性を共有する議論

(2) テクニカルグループ会議：

・12月22日(火) 愛知県総合体育館にて、テクニカルレポート作成

(3) NTS委員会：2月12日(金) ANTCにて、新体制決定

(4) NTS技術指導内容策定委員会

・10月31日(土) ANTCにて、NTSセンタートレーニング内容の策定

・2月21日(日) ANTCにて、平成28年度NTSブロック内容の策定

・3月27日(日) 駒沢体育館にて、平成28年度NTSブロック内容の追加策定

3. 競技運営に関する事業

1) 主要大会の管理・運営 (斜体は国際大会)

月	大会名	開催日程	開催地	結果
4月	第12回東アジア選手権	4/16-19	大分市・ベッポアリーナ	男子 1:JTB 2:大崎電気 3:大同特殊鋼 女子 1:仁川 2:北國銀行 3:JTB

5月	高松宮記念杯第4回全日本社会人選手権	5/20-24	富山市総合体育館	男子 1;大崎電気 2;トヨタ車体 3;大同特殊鋼 女子 1;北國銀行 2;私大 3;三重バレーソフト
6月	第20回ビスマ国際大会	6/26-28	広島市・中区 SC	女子 1;日本 2;SK オース 3;広島メイプルズ 4;中国
7月	第35回全国クラブ選手権西地区	7/11,12	広島県立総合体育館他	男子 1;SFIDA 山口 2;FHC 3;Various 鹿児島、あらかき歯科クリニック 女子 1;徳山クラブ 2;ninfa kagoshima 3;HC 長崎、林クラブ
	第35回全国クラブ選手権中地区	7/11,12	柏崎市総合体育館他	男子 1;HC 岐阜 2;八光自動車工業 3;ホチキス 女子 1;Poire 2;三重娘 3;BRHC
	第35回全国クラブ選手権東地区	7/11,12	甲府市小瀬緑公園体育館他	男子 1;甲府クラブ 2;富岡パルティ 3;学石クラブ 女子 1;REDS 2;北沢クラブ 3;梅の家
	第23回全日本マスターズ大会	7/31-8/2	豊田市総合体育館他	男子 青 1;下松アグリー 赤 1;大阪 330HC 女子 黄 1;御座姐 桃 1;MLN39
	第28回全国小学生大会	7/31-8/2	京田辺市田辺中央体育館他	男子 1;神森小 HBC 2;東海 HBS 3;上庄 HBC 女子 1;三郷 HBC 2;東海 HBS 3;HC 宮田
8月	高松宮記念杯第66回全日本高校選手権大会	8/2-7	堺市金岡公園体育館他	男子 1;藤代紫水 2;法政二 3;北陸、浦和学院 女子 1;高松商業 2;四天王寺 3; 佼成女子、玉野光南
	第20回ジャパンオープンナショナル岩手国体バレー大会	8/9-12	花巻市総合体育館他	男子 1;HC 和歌山 2;FOG 3;トヨタ紡織九州レフト イバ 女子 1;香川銀行 T・H 2;HC 和歌山 3;那覇西クラブ
	第42回全国高等専門学校選手権大会	8/20,21	八代市総合体育館他	1;金沢高専 2;北九州高専 3;徳山高専、米子高専
	第44回全国中学校大会	8/21-24	花巻市総合体育館他	男子 1;氷見西條中 2;矢巾中 3;岩国中、板津中 女子 1;明倫中 2;平田中 3;朝明中、平針中
	第17回全日本バレーボール選手権大会	8/22,23	南知多町小桁公園海岸	男子 1;日体大 A 2;MJクラブ 3;東海 Weeds!、日体大 B 女子 1;日体大 2;SHINE 3;東海 Weeds!、レミングバード
9月	第70回国民体育大会	9/28-10/2	和歌山ビッグフィールド他	成年男子 1;埼玉県 2;愛知県 3;広島県 4;宮城県 成年女子 1;石川県 2;鹿児島県 3;熊本県 4;広島県 少年男子 1;大分県 2;富山県 3;山口県、愛知県 少年女子 1; 東京都 2;茨城県 3;岡山県、大阪府
10月	リパブリック・オブ・アジア女子ソフトボール予選	10/20-25	愛知県体育館	1;韓国 2;日本 3;中国 4;カザフスタン 5;ウズベキスタン
11月	高松宮記念杯男子第58回女子第51回全日本学生選手権大会	11/7-11	函館アリーナ他	男子 1;日体大 2;早稲田 3;日本大、筑波大 女子 1;大体大 2;東女体 3;筑波大、大教大
12月	第67回日本選手権大会	12/22-27	愛知県体育館他	男子 1;トヨタ車体 2;大同特殊鋼 3;琉球クラブ、大崎電気 女子 1;北國銀行 2;私大 3;ニッセイクラブ、広島メイプル
	第24回 JOC ジュニアオリンピックカップ	12/24-27	浦添市民体育館他	男子 1;愛知県 2;石川県 3;埼玉県、岩手県 女子 1;東京都 2;山口県 3;福井県、京都府
2月	全日本社会人チャレンジ2016	2/5-7	北陸電力福井体育館丸ア	男子 1;HC 岩手 2;HC 岐阜 3;トヨタ自動車 女子 1;岩手選抜 2;HC 福井 3;愛媛選抜
3月	第39回全国高等学校選抜大会	3/24-29	グリーンアリーナ神戸他	男子 1;岩国工業 2;大分浦添 3;大体大浪商、法政二 女子 1;水海道二 2;名経大市邨 3;華陵、高水

第 11 回春の全国中学生選手権大会	3/26-29	氷見市ふれあいスポーツセンター他	男子 1;甲田中 2;戸塚西中 3;滝ノ水中、大分中 女子 1;松橋中 2;芦城中 3;原川中、氷見十三中
第 40 回日本リーグプレーオフ	3/26,27	駒沢体育館	男子 1;大崎電気 2;トヨタ車体 3;トヨタ自動車東日本 4;大同特殊鋼 女子 1;北國銀行 2;弘明 3;ユニセコダクタ 4;広島メイプルレッズ

2) その他の事業

- (1) 日本協会主催、共催大会の管理運営にあたった
- (2) 平成 27 年度チーム・選手・チーム役員登録業務を遂行した
- (3) 4 月、テクニカルデレゲートの任務を発行し、周知を図った
- (4) 4 月、競技運営に関する通知を発行し、競技運営に関する周知を図った
- (5) 日本協会主催大会である 8 月のジャパンオープントーナメント、10 月の国体、12 月の日本選手権、3 月の春中大会の直接管理運営にあたった
- (6) 8 月のジャパンオープントーナメント、10 月の国体、3 月の春中大会、6 月の東京、9 月の石川、佐賀、愛知のテクニカルデレゲート講習会を開催し、競技役員の業務運営の向上を図った
- (7) 8 月、第 76 回国民体育大会(平成 33 年度)正規視察(三重県)を実施した
- (8) 10 月、名古屋市においてリオ五輪女子アジア予選大会を開催し、競技運営にあたった
- (9) 3 月、競技運営連絡協議会(東京)を開催した

4. 競技規則(審判)に関する事業

1) 主な事業 (斜体は国際大会・会議)

月	事業名	開催日程	開催地	概要及び実績
4月	第1回競技規則研究委員会	4/12	岡山県岡山市	出席者: 委員 4 名, 審判部長 レフェリー研修会打合わせ, 競技規則書発行準備
	第 12 回東アジアクラブ選手権大会	4/15~19	大分市	TD: 仲田稔, レフェリー: 太田智子・島尻真理子, 田淵元雄・河合威廷を派遣
	第 1 回審判部会	4/26	東京都渋谷区	出席者: 競技本部長, 審判部長, 副部長
5月	審査指導委員会 ブロック審判長会議	5/16~17	愛知県知立市他	出席者: 審査指導委員 7 名, ブロック審判長 8 名, 副審判部長 A/B 級審査会打合わせおよび審査基準の統一他
	第 1 回レフェリーアカデミー	5/17	福岡県福岡市	受講者 9 名, 指導者 1 名
6月	B 級公認審判員審査会 〔関東地区〕	6/19~21	神奈川県藤沢市	受験者 20 名 審査担当 4 名を派遣
	第 3 回東アジア U-22 選手権大会	6/23~29	台湾・台北市	TD: 仲田稔 AHF/PRC 委員 レフェリー: 村田哲郎・明木源を派遣
	女子代表国際強化試合	6/23・24	愛知県豊橋市他	レフェリー: 太田智子・島尻真理子を派遣
	第 20 回ヒロシマ国際大会	6/26~28	広島県広島市	レフェリー: 檜崎潔・森山 透, 佐々木皇介・馬場智也を派遣
	全日本大会担当レフェリー研修会	6/27・28	東京都北区	受講者: 174 名, 運営スタッフ: 9 名
	第 2 回レフェリーアカデミー	6/27・28	東京都北区	受講者 3 名
7月	第 28 回ユニバーシアード競技大会	7/3~14	韓国・光州市	レフェリー: 太田智子・島尻真理子 (IHF 指名) を派遣
	A/B 級公認審判員審査会 〔東地区〕	7/10~12	山梨県甲府市	受験者 A 級 10 名・B 級 15 名 審査担当 4 名を派遣
	A/B 級公認審判員審査会 〔中地区〕	7/10~12	新潟県柏崎市他	受験者 A 級 6 名・B 級 16 名 審査担当 4 名を派遣

	A/B級公認審判員審査会 〔西地区〕	7/10～12	広島県広島市	受験者A級10名・B級18名 審査担当7名を派遣
8月	第6回男子ユース世界 選手権大会	8/5～8/22	ロシア	レフェリー：本田昭太・田淵元雄(IHF指名)を派遣
	JHAレフェリーコース 前期研修会	8/10～12	滋賀県長浜市他	受講者8名，講師3名 講義ならびに実技研修を実施
	ソウルカップ2015	8/14～18	韓国・ソウル	レフェリー：池淵智一・檜崎潔(AHF指名)を派遣
	第6回女子ユース アジア選手権大会	8/24～9/5	インド・ニューデ リー	レフェリー：太田智子・島尻真理子(AHF指名)を派 遣
	トップリーグ連携機構 審判研修会	8/22～23	東京都北区	受講者：3名
9月	レフェリー指導に關す る委員会	9/13	東京都世田谷区	出席者：競技本部長，審判部長，委員4名
	第3回 レフェリーアカデミー	9/18～20	愛知県名古屋市 他	受講者11名，指導者3名
10月	第2回審判部会	10/10	東京都北区	出席者：競技本部長，審判部長，副部長，総務委員 長，審査指導委員会指導担当者
	日本リーグ コーチ・レ フェリー研修会	10/11	東京都豊島区	受講者：チーム関係9名，レフェリー43名
	リオデジャネイロ五輪 女子アジア予選	10/20～25	愛知県名古屋市	TD：仲田稔(AHF指名)，運営委員：5名を派遣
	JHAレフェリーセミ ナー	10/25	愛知県・名古屋市	受講者47名
11月	リオデジャネイロ五輪 男子アジア予選	11/11～30	カタール・ドーハ	TD：後藤登，レフェリー：池淵智一・檜崎潔(いず れもAHF指名)を派遣
12月	第22回 女子世界選手権大会	12/1～20	デンマーク	レフェリー：太田智子・島尻真理子(IHF指名)を派 遣
	第2回 競技規則研究委員会	12/25・26	愛知県名古屋市	出席者：委員4名，審判部長
	第4回 レフェリーアカデミー	12/25～27	愛知県名古屋市	受講者7名，指導者3名
	トップレフェリー研修 会	12/26	愛知県名古屋市	受講者21名
H 28 1月	NTSセンタートレーニン グ	1/6・11	東京都北区	両日とも2名のレフェリーを派遣
	第3回審判部会	1/10	東京都町田市	出席者：競技本部長，審判部長，副部長，競技規則 研究委員長，総務委員長
	第17回 男子アジア選手権大会	1/13～30	パーレーン・ マナーマ	レフェリー：池淵智一・檜崎潔(AHF指名)を派遣
	第4回審判部会	1/30	東京都北区	出席者：競技本部長，審判部長，副部長，総務委員 長
	平成27年度 審判部合同委員会	1/30・31	東京都北区	出席者：専務理事，競技本部長，審判部長・副部長， 各ブロックおよび連盟審判長，審判部各専門委員会 委員長，普及委員会・小学生およびビーチ担当者 計22名 平成27年度活動の総括，平成28年度活動内容の検 討他。
2月	社会人連盟レフェリー コース(B級審査会)	2/5～7	福井県永平寺町	受講者3名，講師2名 講義ならびに競技規則筆記試験・実技試験を実施 し，3名をB級審判員に認定。
	各ブロック審判長会議 への出席	上旬～下旬	各ブロック	審判部長，審査指導委員長，審査指導委員会指導担 当者を派遣
	チーフレフェリーと TDのためのAHFシ ンポジウム	2/16～20	香港	レフェリー部門：競技規則研究委員長，TD部門： 競技本部長を派遣
	第5回 レフェリーアカデミー	2/26～28	愛知県豊田市	受講者10名，指導者2名
3月	JHAレフェリーコース 後期研修会	3/19・20	東京都世田谷区	受講者6名，講師3名 講義ならびに実技研修・競技規則筆記試験を実施 し，前期後期を総合判定して6名をB級審判員に認 定。

	コーチ・レフェリー シンポジウム 2016	3/26・27	東京都世田谷区	講師 1 名を派遣
--	--------------------------	---------	---------	-----------

2) その他の事業

- (1) 文書の発送受付など諸手続きならびに審判員登録期限厳守の徹底（総務専門委員会）
- (2) 審判研修会用資料の企画・作成（競技規則研究専門委員会・視聴覚専門委員会）
- (3) 各全日本大会における審判技術の実態把握（審判部長・副部長，連盟審判長）
- (4) 各全日本大会において競技規則筆記試験を実施（連盟審判長，ブロック審判長）
- (5) 国際情報収集と競技規則書の企画・作成（国際専門委員会・競技規則研究専門委員会）
- (6) 他委員会などとの連携強化（審判部長・副部長，日本リーグ審判専門委員会）

3) A/B級公認審判員審査結果

	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	A 級	B 級	A 級	B 級	A 級	B 級
審査申請者	43 名	66 名	43 名	69 名	28 名	75 名
書類不備	1 名	2 名	2 名	6 名	0 名	0 名
欠席	3 名	7 名	1 名	2 名	2 名	6 名
筆記試験不合格	3 名	7 名	0 名	1 名	0 名	3 名
実技試験不合格	7 名	8 名	7 名	15 名	8 名	18 名
体力試験不合格	0 名		0 名		2 名	
合格者	31 名	43 名	33 名	45 名	17 名	49 名

平成 25 年度 筆記・実技ともに不合格 A 級 2 名，B 級 1 名

平成 27 年度 A 級：実技・体力ともに不合格 1 名，B 級：筆記・実技ともに不合格 1 名

5. 総務に関する事業

1) 諸会議を下記のように開催した

- (1) 評議員会 6月27日(東京)
- (2) 理事会 6月13日(東京) 7月11日(臨時) 2月13日(東京)
- (3) 常務理事会 4月11日(東京) 5月16日(東京) 7月12日(東京) 9月12日(東京)
10月10日(東京) 11月15日(東京) 12月12日(東京) 1月16日(東京)
3月12日(東京)
- (4) 全国理事長会議
第1回：9月27日(日) 和歌山国体競技開始前日に開催。上半期の事業報告行われた
また強化体制・強化計画・強化資金、日本選手権等について説明した。
第2回：2月14日(日) 東京にて開催。担当常務理事より主な実施事業について報告が
行われ、意見交換を行った。

2) 事務局内人事異動を行った

3) 組織の変更

- (1) ガバナンス室の新設
- (2) 企画部を廃止し、事業本部を新設

4) 諸規程の整備

- (1) 公益財団法人への移行対応済
- (2) 改定作業継続中

6. 国際に関する事業

1) 日本代表チーム・役員・レフリー等の派遣及び海外チーム招聘等に関する事業

日程	カテゴリー/参加者	大会名称	開催地
4月	男女リーグ代表チーム	第12回東アジアクラブ選手権	日本・別府市
	役員	EAHF 会議	日本・別府市
5月	女子代表チーム	欧州遠征	ハンガリー
6月	女子代表チーム	国際強化試合(SK オーフス)	日本・愛知県
	女子代表チーム	ヒロシマ国際	日本・広島市
	男女 U-22	第3回東アジア U-22 選手権	台湾・台北
7月	男女学生・レフリー	ユニバーシアード競技大会	韓国・光州市
	男子 U-21	第20回男子ジュニア世界選手権	ブラジル・ウベルランジア
8月	男子代表チーム	欧州遠征	フランス・スペイン
	女子代表チーム	欧州遠征	ハンガリー・デンマーク
	女子 U-20	第13回女子ジュニアアジア選手権	カザフスタン・アルマトイ
	男女小学生(U-12)	第7回日韓小学生交流	日本・岩国市
	男子 U-19	第6回ユース世界選手権	ロシア・エカテリンブルク
	男子 U-16	日韓スポーツ交流(派遣)	韓国
	女子 U-18	女子ユースアジア選手権	インド・ニューデリー
9月	男子 U-16	日韓スポーツ交流(受入)	日本・佐賀
	女子 U-16	日韓スポーツ交流(受入)	日本・佐賀
10月	女子代表チーム	リオ五輪アジア予選	日本・名古屋市
11月	男子代表チーム	欧州遠征	ハンガリー
	男子代表チーム	リオ五輪アジア予選	カタール・ドーハ
	女子代表チーム	欧州遠征	ハンガリー
	役員	IHF・AHF 総会	ロシア・ソチ
	女子 U-16	日韓スポーツ交流(派遣)	韓国・仁川
12月	女子代表チーム	第22回女子世界	デンマーク・ヘアニング
1月	男子代表チーム	第17回男子アジア選手権	バーレーン・マナーマ
3月	女子代表チーム	IHF オリンピック女子世界最終予選	フランス・メッス

以上の行事への参加申請手続き・参加費等の精算・渡航手続きなど事務全般
27年度 日韓定期戦は中止。

2) 国際会議等ならびに派遣に関する事業

(1) IHF 関係

- ・ IHF 総会に出席(11月ロシア・ソチ)
- ・ IHF 理事会などの議事内容翻訳
- ・ IHF に対しての諸連絡と加盟各国連盟との協力関係強化
- ・ 各種大会や役員・レフリー派遣業務の連絡調整全般
- * IHF に関する事務的なエントリーなど手続き・諸連絡

(2) AHF 関係

- ・ AHF 総会に出席(11月ロシア・ソチ)
- ・ テクニカルデレゲートならびにレフェリー派遣実施
- ・ 各カテゴリーのアジア選手権参加のサポート
 - * AHF に関する事務的なエントリーなど手続き・諸連絡
 - * テクニカルデレゲート・審判・アンチドーピング委員派遣などに関する連絡
 - * AHF 会議議題・議事録の翻訳

(3)EAHF 関係

- ・ 4月 EAHF 会議(日本・大分県)
- * EAHF 会議議題・議事録の翻訳
- * EAHF に関する連絡

3) その他の事業

- (1)リオ五輪女子アジア予選(名古屋開催)における I H F、A H F 役員への対応など。
- (2)JOC 国際人養成プロジェクト、太田智子氏受講修了。
- (3)来訪諸国の来日対応(シンガポールチーム・インド協会役員他)
- (4)翻訳業務
 - * 大会要綱の翻訳
 - * 海外大会情報の翻訳及び掲示

7. 財務・会計に関する事業

平成 27 年度は、最大のビックイベントであったリオ五輪女子アジア予選の開催されたことにより収入、支出ともに前年度を上回る結果となった。

収入面では、登録者の皆さんからの強化支援金および登録人数増加により登録金収入が増加となったこと、マーケティング事業収入および寄付金の増加、日本オリンピック委員会からの補助金収入の増加となったこと等により予算額を上回る結果となった。支出面では、リオ五輪女子アジア予選の開催もあったが、各事業の見直し、効率的な予算執行、補助金の効率的な運用に取り組んだことにより事業活動収支差額は 12,311 千円となった。特定資産取崩収入として平成 27 年度開催のアジア世界大会出場積立金、国際大会積立金、東アジアクラブ選手権積立金等 137,000 千円を取崩し、特定費用準備資金として次年度アジア大会出場積立金、欧州遠征費用積立金を含む 131,340 千円を積立てたことにより当期収支差額は 18,861 千円、次期繰越収支差額は 45,151 千円となった。

8. 広報に関する事業

1) 広報

- (1)広報年間スケジュールに基づき活動を行った
 - 定期記者発表 2 回(日本リーグ、日本リーグプレーオフ)
 - 臨時記者発表 2 回、代表合宿メディア公開 5 回
 - プレスリリース(メールリリースも含め)112 回
 - (男女日本代表情報、各カテゴリー国際大会、国内大会他)
- (2)マスコミ(テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、ライター他)の取材調整を行った(125 件)
- (3)リオ五輪アジア予選においてマスコミを招いて懇親を図った
- (4)インターネット(フェイスブック)を利用した情報の発信を図った

2) インターネット

- (1)日本協会ホームページの充実を図った
 情報発信のスピード化を推進した(大会結果速報用に掲示板を利用した)
 更新頻度の増加を図った
 代表活動について、フェイスブックを通じ発信した
- (2)メディアへの露出についてホームページを通じて告知した
- (3)トップページに大会情報をコンテンツとして作成し、直近大会情報へのページへ移動出来るようにした
- (4) リオ五輪アジア予選について大会特設ページを作成した

9 . 機関誌発行に関する事業

- 1)施策方針・理事会・各委員会組織からの情報発信として、事業計画、年2回の理事会議事録、医事委員会、審判委員会、指導委員会などからの方針や報告を適宜掲載した。未掲載の委員会については、積極的に掲載いただくように啓蒙していく。都道府県協会からの情報発信については、進展がなかった。
- 2)日本協会ホームページに掲載されている大会の戦評およびスコアを有効に利用。また、日本協会ホームページ掲載の資料についても機関誌による掲載が妥当な案件について選択して掲載した。
- 3) 大会報告記事については、大会事務方に依頼、様々な大会周辺の情報まで記述いただくこと時間的制約の中、前向きに対応いただき掲載することができた。機関誌委員会のメンバーが直接取材できる体制の構築が課題。
- 4)日本協会唯一の広報誌として、商用雑誌の「イベント」とは違った構成に努めた。
- 5)年間8回の発行を実施した。
- 6) 指導者のみならず、選手・部員にも読まれるよう、最終ページには回覧簿を掲載。また回覧簿をチラシとして同封し、活用推進に努めた。
- 7)2019年、2020年を踏まえた連載企画については、情報が連携される都度に掲載したが、具体的な動きに繋がっていない。

10 . 企画に関する事業

- 1)社会人登録(個人・チーム数)の実態を調査し、未登録者・チームの登録促進を図った
 また、社会人連盟の組織変更および体制の変更を調整した
- 2)第67回(第1回)日本選手権を開催・実施に協力した、県・ブロック大会の実態を調査し課題を整理した
- 3)第22回女子世界選手権大会(デンマーク)を視察した
 第2回組織委員会が開催され、平成28年度の事業計画が決定された

4)代表強化について、事業本部・強化本部・競技本部と連携を強化し、各種プランニングをした

5)高校生大会の1月開催の立案および提案をした(常務理事会、高体連)

11. マーケティングに関する事業

1)マーケティング収入 目標 60,000 千円
合計 82,140 千円(日本リーグ除く、リオ五輪予選 19,820 千円を含む)

2)協賛金以外の収入

機関誌広告	3,410 千円
寄付金	23,300 千円(平成 28 年度強化支援金 17,500 千円を含む)
物品販売	10,722 千円(リオ五輪予選含む)
物品提供	モルテン・アシックス

3)新規協賛企業 ・ジャパネットたかた(大会特別協賛)
(日本ハンドボールリーグ機構の新規協賛は4社、大和証券グループ本社・エバラ食品・境港マリンバード・エムアンドケイ)

4)2019 年に向けた特別協賛企業の獲得に向けた活動を継続して実施

5) ファンドレイジングの活動は 11 月にウェブを立ち上げスタート

6) オリジナルグッズ・DVD 等の企画販売の継続

7)協会主催大会及び各都道府県・各連盟に対するマーケティング活動の指導並びに協賛パートナーの拡大は継続実施

8)スポンサー感謝の集いを 10 月 5 日に実施(リオ五輪アジア予選壮行会を同時に実施)

9)JOC・トップリーグ連携機構との連携・協力によるマーケティング活動の向上は今後の課題

10)広告代理店、イベント会社、グッズ企画販売会社等の新たなマーケティング活動のチャンスを開拓は博報堂 D Y と契約し、リオ五輪予選のマーケティング活動を実施

11)事務局マーケティング担当を変更し、各委員の担当業務を決定し、役割を明確にした

12)リオ五輪予選開催のマーケティング活動
・大会協賛会社 15 社 協賛金額 18,740 千円

12. 日本リーグに関する事業

1)《総務部》 運営の諸整備を推進し、日本リーグの運営をより強力かつ円滑なものに変革し
運営体制を強化する

(1)40 回大会のレギュラーシーズン平均集客数 866 名(対前年比 118%)

- (2)運営マニュアルの改訂版を作成し、開催地へ配布し運営の統一を図った。
 - (3)開催地責任者と GM 会議を分けて行い役割を明確化した。
- 2) 《チャレンジ・ディビジョン》 トップリーグ参入チームの支援、発掘
- (1)16 チーム参加。(前年度比+3 チーム)
- 3) 《広報部》 メディア、ファンに対する情報発信
- (1)開幕前に各新聞社運動部を訪問し記者発表出席依頼を擦ることで開幕記者発表やプレーオフ記者発表での出席が多く新聞媒体での露出が増えた。
 - (2)全試合インターネット中継を行った。
 - (3)ポスター・プログラムを作成チーム・開催地へ配布(前年度継続)
- 4) 《マーケティング部》 日本リーグの活性化と収益拡大
- (1)プレーオフでの新規スポンサー獲得に成功(大和証券)
 - (2)今期マーケティング収入 20,591,600 円(前年比 108%)
- 5) 《競技・審判部》 レフェリーの技術向上及びチームとの共通理解
- (1) JHL レフェリー講習会をチーム監督と JHL オフィシャルと合同で開催しチーム、レフェリーの見解の統一をはかった。
 - (2) チャレンジ・ディビジョンに若手レフェリーを招聘、実技を通じた研鑽を実施できた。
 - (3) 日本トップリーグ連携機構主催の審判研修会へ JHL レフェリー4 名が参加。
- 6) 《スケジュール部》 日本リーグの活性化を図りつつ代表活動との連携
- (1) オリンピック予選の関係で、女子は2 回戦総当たり、男子は開幕戦では代表選手不在での開幕
 - (2) 女子を2 回戦に男子を期間短縮開催のため、集中開催を増やした
- 7) 《普及部》 全ジュニアチームの設立による日本リーグの活性化
- (1) 第5 回 JHL ジュニアリーグを開催、8 月7 日~9 日、東地区を愛知県一宮市、西地区、広島県広島市で開催。
(トヨタ自動車東日本、大崎電気、北國銀行、北陸電力、豊田合成、大同特殊鋼、HC 名古屋、飛騨高山ブラックブルズ岐阜、三重バイオレットアイリス、湧永製薬、広島メイプルレッズ、トヨタ紡織九州、オムロン、ソニーセミコンダクタ、琉球コラソン)
 - (2)プレーオフにて優勝決定戦を実施、白熱した試合展開となった。
(男子優勝：北陸電力、女子優勝：琉球コラソン)
- 8) 《記録部》 PCスコアの改善とデータベースを活用した情報発信のシステム構築
- (1)PC スコアは全会場で安定して実施できた
 - (2)膨大な記録データの管理と逐次情報発信ができ、試合後のホームページへの速報アップがスムーズにできた。
- 9) 《トップリーグ参入プロジェクト》 早期実現に向けてプロジェクトの強化
- (1)大阪、富山での新チーム誕生が府県協会の協力のもと実現し、平成 29 年度日本リーグ参入を目指し準備を進めている

10) 《中長期ビジョンプロジェクト》

開幕記者発表時に中期計画を発表した。

11) 《強化プロジェクト》

日本リーグ監督・コーチを対象に6月4・5日、7月30・31日、8月27・28日、10月8・9日の4回開催した。

13. 「がんばれハンドボール20万人会」サポート会に関する事業

1) 平成27年度サポート会員総数(平成28年3月31日現在 (カッコ内は前年比))

特別会員	1名 (-2)
グランド会員	211名 (+12)
ファミリー会員	47名 (+6)
ジュニア会員	20名 (-16)
都道府県ファミリー会員	335名 (+19)
都道府県グループ会員	9,704名 (+624)
総数	10,318名 (+643)

2) 推進活動

- (1) 都道府県ファミリー会員・グループ会員入会の促進
- (2) 大会会場における会員の優先席設定

3) 事務局

- (1) 毎月の入会・更新作業
- (2) 打合会の開催・事務処理

4) その他

- (1) 実状分析、課題・問題点の洗い出し
- (2) 制度の改定作業に着手